

愛媛大学

平成21年度土木海洋会だより

— 第15号 —



Mine Engineering
 Civil Engineering
 Ocean Engineering
 Civil & Ocean Engineering
 Civil & Environmental Engineering

目 次

ごあいさつ	(会長 鈴木 幸一).....	1
学科だより	(副会長 環境建設工学コース長 氏家 勲).....	2
離任の挨拶	(石井 敏量).....	3
	(海田 辰将).....	4
新規役員の挨拶	(本部幹事長 木下 尚樹 土木63年卒).....	6
	(愛媛支部長 山田 康晴 土木53年卒).....	7
	(関東支部長 大仲 祥司 土木47年卒).....	8
支部だより	(関東支部幹事長 薦田 光郎 土木52年卒).....	10
	(関西支部幹事長 大橋 健一 土木47年卒).....	11
	(中国支部幹事長 村下 耕荘 海洋54年卒).....	12
	(愛媛支部幹事長 明日 孝憲 土海9年卒).....	13
会員だより	(村上 真 環建18年卒).....	17
	(安藤新一郎 環建18年卒).....	18
同窓会報告	(土質研究室).....	20
	(関東支部).....	22
	(首藤 八起 鉱山37年卒).....	24
	(片山 尚男 鉱山39年卒).....	25
	(森研究室).....	26
平成21年度総会報告		28
会計報告		30
事務局だより		32

会長就任のご挨拶

会長 鈴木 幸一（教授）



この度、石井敏量会長の後を継ぎ、愛媛大学土木海洋会の会長を仰せつかることになりました。会員の皆様のご支援の下、大役を果たしたいと存じますのでご協力をよろしくお願いいたします。

さて、ご承知のように先の衆議院議員総選挙におきまして政権交代が実現し、与党となった民主党の新たな施策が期待されております。ただ、民主党の選挙マニフェストでは、無駄を廃し予算をより必要性の高いものに使うという指針の下に、公共事業の見直しや削減等、建設業界にとっ

ては厳しいものも提示されています。こうした中であっても、社会資本整備の必要性は、新たな施設整備だけでなく既存の施設のメンテナンスを含めて、今後とも変わることは無いと考えています。土木工学を志す学生に、いかに土木の魅力や土木の将来を語り、土木技術者としての誇りや夢をもってもらうか。これが、愛媛大学環境建設工学科の教育研究の中でさらになされなければならないと考えております。この前提として、土木海洋会会員の諸先輩のご活躍の状況や社会のニーズの変化など職場からの新しい情報が重要であります。このような情報交換を積極的に行うことが、「会員相互の親睦を図り、土木海洋工学の技術の発展に寄与する」という本会の目的を果たすことになります。

そのためにはまず情報交換の場を広げることが必要です。また、本会では会費収入の減少に基づく財政難が顕在化しつつあります。これらの問題の解決は、会員にとっての本会の魅力を高めることによってしかできません。そのために、まず会員名簿の精度の向上、支部活動活性化のための支援、同期会の定期的開催のための支援等を、検討し実行していきたいと考えています。会員の皆様のご理解とご鞭撻および本会運営へのご意見を戴きますようお願いいたします。

学科だより

土木海洋会副会長 環境建設工学コース長

氏家 勲



土木海洋会会員の皆様におかれましては、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、土木海洋会および環境建設工学科の発展のため、ご尽力・ご協力を賜っておりますことを、厚くお礼申し上げます。

環境建設工学科の近況を述べさせていただきます。まず、学科の教員の異動についてご報告させていただきます。昨年11月以降、転入された方はおりませんが、8月から海田辰将助教が徳山高等専門学校に転出されました。研究および教育に熱心に取り組んでいただいております本学科にとっては優秀な人材がいなくなることにありますが、本人の希望を尊重いたしました。また、来年の3月には柏谷増男教授および山口正隆教授が定年退職の予定です。

次に学生の就職状況について報告させていただきます。平成21年度の大学院修了予定者27名（留学生1名）で、就職先（内定を含む）は公務員3名、建設業8名、コンサルタント等3名、製造業3名、電力・運輸・通信4名、その他が3名です。学部卒業予定者は98名で、進学・就職先（内定を含む）は大学院進学32名、公務員12名、建設業10名、製造業5名、コンサルタント等5名、その他5名、就職活動中6名、大学院進学志望者17名です。学部生に関しましては大学院への進学者が志望者を含めると例年より非常に多く、やや就職難の状況にあると思われます。

上述のように卒業生の就職にも苦戦をしており、建設業界の置かれた状況は依然として厳しい状況にあります。昨年の学科だよりで、環境建設工学科の受験生の数を増やすために、高校生にとって魅力ある学科にすることの検討中であることをご報告いたしました。平成23年度から教育コースを変更することとしました。変更したコース名は土木工学コースと社会デザインコースです。土木工学コースは現在のシビルエンジニアリング専修コースと基本的には同じですが、社会科学の基礎的内容をカリキュラムに加えます。一方、社会デザインコースは現在の一般コースを大幅に変更したものです。社会デザインコースでは土木工学に関する基礎的な内容を教授した上で、土木工学コースのような高度な土木技術教育ではなく、社会科学の応用的内容にまで踏み込んだ教育を実施します。また、社会デザインコースは、文系志望の学生にも門戸を開放し、従来の土木の専門分野を理解しながら、社会学

的な素養も身につけた総合力のある学生を輩出することを目指します。この変更は新たな時代に対応する人材を育成するためのものであり、新たな教育コースがうまく行くように努力いたしますが、会員の方々のご指導・ご鞭撻もよろしくお願いいたします。

最後に、皆様のご健勝をお祈りいたしまして、学科の報告とさせていただきます。

離任の挨拶

会長離任のご挨拶

石井 敏量（土木45年卒）



土木海洋会会員の皆様、お変わりございませんでしょうか。日頃より、土木海洋会の発展のために、何かとご尽力・ご協力を頂いております事、心よりお礼申し上げます。

さて、時の流れは速いもので私が土木海洋会の会長を仰せつかってから、あっという間に2年の歳月が過ぎてしまいました。個人的なことではありますが、私も今年の6月に約40年間勤務した建設会社をリタイア致しましたので、それを機会に事務局に無理なお願いをして、土木海洋会会長職を離任させていただきました。

例年の懸案事項となっている、会費納入状況の改善や、若年層会員の参加数の不足などの問題点に対しても、これといった顕著な対応策を見出せないままではありますが、これも一朝一夕に改変出来る事ではなく、当面は地道な活動と継続した声掛けを続けて行く事が大切だろうと思います。会員数の増大とともに、職種や職域も相当広範囲になってきており、現在の関東・近畿・中国・愛媛の4支部の活動範囲だけではカバーしきれないエリアが増えています。そのエリアの方から見れば、「同窓会は誰かがやっている、年に一回名簿を送って来て会費を請求してくる、しかし自分は参加する訳でもなくあまり同窓会とは縁がないな」となってしまいます。ここらあたりもこれからの改善点の一つだと思います。また、数年前から特に顕著になってきた「官・民」間の接触に対する必要以上の気遣い・配慮もあり、今後ど

うなっていくのか気懸かりなところです。

最近特に感じること（歳の所為もあるかもしれない）ですが、世の中の進歩や変化のスピードが激しく、著しくなっており、以前の経験をうまく生かせない事態や、経験すらした事がない事態が、社会の中で多々発生していると思います。ややもすると、人間関係も希薄なものになりがちです。こういう時こそ、同窓会という組織が重要な役割を担ってくるのではないのでしょうか。人と人の、縦のつながりと横のつながりをこれほど簡単に広げる事ができる組織は同窓会が最適だと思います。

尚、新会長は、学校から鈴木教授が就任してくださいました。ご多忙にもかかわらず、快諾していただいたと聞いております。本当に有難うございました。

最後に、在任中の皆様方の一方ならぬご支援、ご協力に感謝しお礼申し上げます。

離任のご挨拶と近況報告

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科
助教 海田 辰将



この度、H21年7月31日をもって愛媛大学を離任し、翌8月1日付で徳山高専土木建築工学科に着任いたしました。愛媛大学では、約1年10カ月という短い在任期間でしたが、土木海洋会の皆様、とくに環境建設工学科教職員の皆様には大変お世話になりました。ここに改めて御礼申し上げます。

愛媛大学では、在職期間の割にとっても内容の濃い経験をさせて頂き、私自身の視野が広がっただけでなく、多くの大切な仲間や教え子たちを思い出とともに得ることができました。その中でも、最も私の記憶に残り、かつ今後の教員生活に生きてくるであろう思い出は、大学での講義、とくに「物理学実験（環建1回生対象）」でしょう。基礎学力や素行が懸念されつつある学生を1回生のときから「教育」し、環境建設工学科学生のクオリティをアップさせようという旗の下で、担当教員4名+物理実験室職員2名が毎回知恵を出し合い、相互に連携・連絡を密に取り合いながらリレー形式で行われる授業は斬新で、教育効果の高い講義になったと自負しております。厳しかったけれども「やってよかった」と言う声が多くの子から聞いたこ

とは大変嬉しく思っています。

一方、構造研究室では、大賀先生、中畑先生のお人柄と研究に対する真摯な姿勢に、私自身、大変良い刺激を受けたと思っております。また研究室学生の皆さんも素直で明るく、私が愛媛大学に着任したその日から暖かく迎え入れてくれました。研究に関する実験・解析で一喜一憂し、TA学生とは授業遂行の難しさを共感し、休日に一緒に魚を釣りに行ったけど丸坊主、そしてそれらの話題を魚に酒を酌み交わす……。そんな毎日が楽しくて仕方ありませんでした。そのため、離任する時には後ろ髪を引かれる気分とは、こういうことなんだと初めて痛感しました。

さて、私の近況ですが、徳山高専は母校ということもあって現在も恩師の先生方が多くいらっしゃいます。その中での仕事というのは、私という人間の長所も短所もよくご存じだけに、今までにない変な緊張感を感じています。とはいえ、後輩学生を相手に教鞭を執れるということは魅力的で、今まで以上に授業・研究・学生指導に熱が入りそうな感じです。授業科目としては、鋼構造ⅠおよびⅡ・測量学・そして建築一般構造とバラエティに富んだ授業を担当しており、現在はその準備に追われながらの生活となっています。母校とはいえ、卒業後12年経っていることから戸惑うことも多く、その都度、徳山高専教職員の皆さんに支えられながらの教員生活スタートです。

私事としては、7月24日に第一子（志桜里）が誕生し、家族が増えました。この異動の最中での出産に、7月中旬から8月までは殺人的な忙しさだったのですが、帰宅して娘の顔をみるとすべてがウソのように感じられます。今は娘をお風呂に入れることが私の日課となっており、また毎日の楽しみになっています。いつまでパパと一緒にお風呂に入ってくれるのか、今から心配しています。

以上を私の離任を挨拶と近況報告に変えさせていただきますが、これからもお世話になった愛媛大学環境建設工学科との繋がりを大切にしたいと強く思うと同時に、まだまだ若輩者につき、土木海洋会員の皆様からのご指導・ご鞭撻を賜れば幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

本部幹事長 木下 尚樹（土木63年卒）



この度前任の畑田先生の後を引き継ぎ、幹事長を仰せつかりました土木工学科63年卒業の木下です。畑田先生お疲れ様でした。今後は新会長の鈴木先生の元、微力ながら土木海洋会の活性化に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、いつも話題に出ることではありますが、同窓会組織の活性化の件です。行事への参加者が少ない、特に若い世代の参加が少ない。したがって、会費などが集まらず、財政難である。ということをよく聞きます。土木海洋会でも同様の現象がみられています。課題は会員にとって魅力やメリットのある同窓会にすることです。各支部では支部総会や各種行事など活発に活動されており、頭の下がる思いでございます。本年の総会でも会の活性化についてご意見を賜りました。本部でも方策を検討し、実行可能なものから随時実施していく所存です。

まず、毎年発行しております会員名簿でございますが、名簿発行は土木海洋会の重要な活動の一つとして考え、これまでの会員の皆様に対する住所調べに加え、学料の教職員の皆さまにもご協力をお願いし、名簿の精度向上を図ってまいります。支部活動への援助や教員派遣についてはこれまでも実施してきておりますが、さらに同期会や支部がない地区での会合等の開催促進・支援を図りたいと思います。会合等の開催をお考えの会員の皆様はぜひご連絡載さたいと思います。また、ホームページには会合等の開催のお知らせや活動報告、会員の皆様へのお知らせを掲載し、情報発信したいと考えております。土木海洋会だよりについてもご意見を賜りました。これまでの内容に加え、魅力あるものにするため検討したいと思います。本部では以上のようなことを考えておりますが、同窓会活性化、会員にとって魅力やメリットのある同窓会にするためのご意見を賜りたいと存じます。どうかよろしくお願いいたします。

本年度は土木海洋会だよりの編集を幹事の門田先生にお願いしました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

最後になりましたが会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

愛媛支部の支部長になって

土木海洋会愛媛支部 支部長 山田 康晴（土木53年卒）



平成21年8月から新支部長となりました山田と申します。友近前支部長の後を引き継ぎ、これから2年間、重職を仰せつかい身の引きしまる思いであります。

愛媛支部は、民間・愛媛県・松山市の3者が2年間ずつ交代で支部長・幹事長を引き受けるシステムとなっており、たまたま私が本支部との腐れ縁でやってきた経緯と年齢のせいで「役どころ」が回ってきたということでもあります。

思い起こせば今から15年ほど前、水工学研究室の恩師である渡邊政弘教授（当時助手）から声をかけられ、その頃は大学に近い松山地方局建設部（愛媛県庁の出先機関）に勤務していたことから何とはなしに土木海洋会の結成に携わったことがきっかけでした。

爾来、諸先輩方が土木海洋会の会長、各支部長、幹事長の要職につかれ、多大な貢献と業績をなし、交代されてきました。そんな中、私にもその役職が託され、「果たしてやりとおせられるのか」との不安と「まあ出来るだけやることよ」という開き直りの気持ちが錯綜しているこの頃であります。

愛媛支部の会員は約600名、その中で愛媛県職員は115名とおお人数がいます。歴代支部長のような立派なことは出来ませんが、県職員の支部長である以上できるだけ県職員に働きかけ支部の諸活動が盛況となるよう努力してゆく所存であります。会員各位におかれましてはこの厳しい経済状況の下、交流を深めそれが役立つことになれば幸いですのでよろしくお願いいたします。

さて、自己紹介を少し、

愛媛県に入庁して32年目になろうとしているいわばロートル人間ですが、現在は東予地方局建設部の河川港湾課長として管内（西条市、新居浜市）の砂防、河川事業や港湾事業の工事の施工や整備計画の策定に取り組んでいます。

趣味は、ご多聞にもれずといえますか体力保持もかねて「ゴルフ」を熱心にやっています。仕事が結構忙しくて実践が出来ないため、打ちっぱなし場通いが熱心なタイプです。自己流でやってきた私の持論を披露しますと

- ① 皆さんには一度でいいからレッスンプロについて上達を目指すことをお勧めします
- ② 自分で、スイングのチェックポイントを決めること（多くても5～6箇所くらい）

- ③ ショートアイアン（８番まで）で狙って打つ練習をすること
- ④ 人と比べることではなく、スコアで自分のレベルアップを目指すこと
- ⑤ 出来の悪い時、いかに冷静にスコアをまとめられるか精神修養の場である。

愛媛支部でも、年２回のゴルフコンペを予定しています。土木海洋会仲間での楽しい交流とゴルフ道の追及に是非参加してもらいたいと思います。

本支部独自の事業として、会員が３名以上参加して活動した場合、活動資金（必要経費の１／２で上限３,０００円）を補助する制度があります。皆さんあまりご存知ではなく利用されていないので是非活用していただきたいと思います。ただし年会費を納めていることが必要条件ですので、会費の納入が滞っている方は、土木海洋会の繁栄のためにも是非納入をお願いします。口座振替が便利ですので毎年８月には総会の案内とともに納入通知が来ると思いますがよろしくお願いします。

取り留めのない内容でありましたが、各会員の今後のご健勝とご活躍ならびに会員相互の交流の場が広がることを祈念して新任挨拶とさせていただきます。

さらに活用しやすい関東支部へチェンジ

関東支部長 大仲 祥司（土木47年卒）



平成11年度から平成16年度まで飯田支部長、櫛田支部長の下で副支部長を勤めさせていただきましたが、本年度より土木海洋会関東支部の支部長を勤めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

早いもので発足14周年を迎えました関東支部の活動は、近年特に若手幹事の積極的な活動に支えられ、レクリエーション、年２回のゴルフ大会、関東支部が自信を持って発行している広報誌などに意欲的に取り組んでおります。しかしながら、若手幹事を中心に活発な活動を展開しておりますにもかかわらず、参加者の固定化、高齢化に伴い今まで出席していただいております先輩の皆さんの出席が年々減少気味なのが残念です。

政権が自民党から公共事業の抜本的見直しを掲げる民主党にチェンジし、八ツ場ダムの建設中止を始め、公共事業の見直しが始まりましたことで、官公需の先行き

に暗雲が漂い、工場やマンションなど民間建築の低迷も長引き、建設業界におきましては受注に底入れの兆しが見えず、大手建設業者では、海外工事の多大なリスクさらされ、追加損出懸念もくすぶり、業績予想の下振れ懸念が強まっているなど建設業界は今までにない時代に置かれています。このような建設業界の現状から、最近の環境建設工学科の卒業生の大半が、建設に関係ない職場に就職しなければならない状況におかれ、当然海洋会の会員の皆様の勤務先も多岐に渡ってきております。

私は海洋会発足には関係していませんでしたが、海洋会が発足した初期から海洋会へ参加させていただいておりました。現場所長の折、石和温泉での泊り込みでの第1回ゴルフ大会は初めてお会いした皆さんと酒を酌み交わし、楽しかったですね。それ以来、ゴルフには支障の無い限り出席しております。また、営業を担当しておりました時は海洋会で知り合いました会員皆さんの職場へ足しげく通わせていただき、情報、アドバイスをいただいたり、名簿に記されている会員のもとへ飛び込みで伺い、人脈を広げるとともに海洋会への参加を促したり、同期の集まりの会としてなどにこの会を有効に活用させていただきました。

この海洋会へ皆様が気軽に参加でき、世代間を越えて、もっともっと有意義な情報交換の場として活用していただける海洋会へと変革していかねばないと考えております。

この海洋会は「土木海洋会名簿」があつてこそ成り立っておりますし、名簿の発行、海洋会の運営は皆様からの年会費で賄っております。年会費を払われた皆様の海洋会なのです。愛媛大学のホームページでも関東支部広報誌がご覧になれますので、活動状況をご覧になり、ご意見をお寄せいただく等、皆さんご自身が大いに参加して情報交換などにこの海洋会を有効にご活用していただけますことを期待しておりますとともに、海洋会の活動状況を広く会員の皆様にご理解していただき、活性化する目的で本年度事業として過去行事の記録集として15周年会誌の発行を計画しておりますのでご期待ください。

関東支部だより

関東支部幹事長 薦田 光郎（土木52年卒）



時の経つのは早いもので関東支部役員を仰せつかって3年目になり、同窓会活動に漸く馴染んで参りました。関東支部では諸先輩方の意欲的な取り組みがあつて、比較的活発に活動されていると思います。平成20年度の主な活動内容は次の通りでした。

- ・平成20年7月 関東支部総会（参加者27名）
- ・同 10月 秋のレクリエーション(兼)新人歓迎会(同、19名)
- ・同 11月 第17回ゴルフ大会（同、12名）
- ・同 11月 第5号広報誌発行
- ・平成21年1月 新年会（兼）就職活動学生懇親会（同、27名）
- ・同 4月 第18回ゴルフ大会（同、10名）
- ・同 5月 歴代役員経験者の懇親会（同、18名）
- ・同 5月 第6号広報誌発行
- ・その他、年間を通して役員会を数回開催

関東支部から会員皆さんへの連絡には、少し前までは葉書が中心でしたが、近年では200名超の圧倒的多数の方へメールを利用し、希望者限定（50名弱）で葉書を使用しています。メールの同報性、即時性、経済性といった利便性をフルに活かしています。さらに、愛媛、中国、近畿各支部の役員ともメール交換し、横の繋がりを探る一環として広報誌やイベントの情報共有を図り始めました。

支部の悩みとして大きくは2つあると思っています。1つは、東京と言った地域特性からか人事異動／転勤などで転出・転入が多く、メンバー氏名や連絡先を十分には把握出来ないことです。これには、役員一同や同期生の協力を得て出来るだけ最新情報を得られるよう努めています。異動された方に置かれましても本部や支部への連絡を是非お願い致します。もうひとつは、本部と同様に年間予算が非常に厳しく、右肩下がりの財務状態にあることです。関東支部では校友会関東支部や工業会東京支部へ役員を派遣して活動の一翼を担っており、なんとか校友会や工業会から補助を得る道筋をつけられないか、本部や学科含めて皆さんで知恵を出し合って頂けると誠に有難いです。

土木海洋会近畿支部

関西支部幹事長 大橋 健一（昭和47年卒）



平成19年から近畿支部の幹事をしている昭和47年卒の大橋です。

近畿支部では、40年程前から同窓会活動が行なわれていましたが、14年前に再結成して現在に至っています。支部活動の主な行事は、7月の総会、1月の新年会、5月の懇親会ゴルフです。総会や新年会では、大学本部からの来賓教員とともに、名誉教授で関西在住の豊國先生や稲田先生にも出席して頂いています。

当支部においても行事参加者の減少と高齢化が大きな問題で、先輩諸氏のご尽力と事務局の献身的な活動で支部が支えられている状況です。総会などの定例的な行事では、若者の感性を取り入れ、議事進行や座席配置などを抜本的に改革し、若い世代の会員が参加し易い雰囲気作りなどをしています。

近畿支部の特色に、数年に一度開催される特別行事があります。京都の有名な社寺仏閣の、一般の観光コースにはない見学会です。これまで、「京都仁和寺本坊宿泊と夜桜見物」、「冬の東寺見学と忘年会」、「晩秋の京都建仁寺見学と塔頭での食事会」を行ないました。今年度は、11月8日の日曜日に「紅葉真っ盛りの比叡山散策と延暦寺里坊での昼食会」を実施しました。

穴太衆積みの石垣が残る静かな佇まいの門前町坂本(滋賀県大津市)にある止観院に集合。昼食歓談をした後、ケーブルカーで比叡山に移動し、紅葉の延暦寺を散策しました。止観院は比叡山延暦寺の里坊の1つで、愛媛大学法文学部卒の小林祖承（こばやしそしょう）師が住職をされています。小林師は天台宗の大僧都で天台宗副執行総務部長という要職にあり大変忙しい中にもかかわらず、延暦寺の散策まで小林師に同伴して頂きました。法文学部棟が封鎖された大学時代の懐かしい話や、日本の歴史に纏わる宗教の興味ある話をして頂きました。



止観院にて



紅葉の中の根本中堂

時の経つのがなんと早い事か

中国支部幹事長 村下 耕莊（海洋54年卒）



大学を出てからはほぼ30年が過ぎ去りました。

今年も残るは1.5ヶ月。皆さんはもう1年が経った、やっと1年が経ったと感じられるのでしょうか。私はもう1年経った、年々時間が経つのが早く感じる歳になりました。時間が経つのが「早い、遅い」と感じる心理的な時間は、加齢と共に短くなり、その人の暦年齢に反比例して感じられる（「ジャネの法則」）そうです。すなわち、10歳の子供が感じる「1年」は、60歳の人にとっては六分の一の「2ヶ月」に過ぎないというものだそうです。

言うまでもなく、若かろうと年をとろうが、一日は24時間、1年は365日です。若い時は新しい体験が大人より多く、その数だけ時間を長く感じるそうです。ひとは歳をとるにつれて多くの体験を積み重ね、好奇心を失い、毎日の時間は単調に過ぎて行く、単調でメリハリのない時間は飛ぶように過ぎ去るそうです。

10代は分、20代は時、30代は日、40代は週、50代は月単位で考えるそうです。40代の方は「じゃあ、それは来週のことになろう」と週単位で約束しますが、その方が50代になると「それは来月のことになろう」と月単位で予定を立てるようになるそうです。

日本でも、ジャネよりも一世紀以上前に活躍した貝原益軒も「時」に注目し「養生訓」に「老後は若き日より月日の速きこと十倍なれば、一日を十日とし、喜樂して、あだに日を暮らすべからず」と説いているそうです。

少しでも時間の経つのを遅くするため、仕事をする上でも家庭でも感動と驚きを探して、充実した日々を過ごし1日を長く感じる生活を目指していきたいと考えている今日この頃です。

愛媛大学土木海洋会 愛媛支部 活動報告

支 部 長 山田 康晴（土木S53年卒）

副支部長 勝谷 雄三（土木S49年卒）

幹 事 長 明日 孝憲（土海H9年卒）



愛媛大学土木海洋会会員の皆様におかれましては、ご活躍のことと存じ上げます。

また、日頃より土木海洋会愛媛支部の活動にご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

本年度は支部長をはじめ、役員がかわりました。どうぞよろしくお願いします。

さて、土木海洋会だよりの紙面をお借りして、平成20年度の活動報告を致します。

【平成20年度事業報告】

平成20年度は、役員会をはじめとして、ゴルフコンペを1回、秋の懇親会を1回、忘年会を開催し、多数の出席を頂きました。詳細は下記に示します。また、ゴルフコンペと忘年会につきましては後ほど詳しくご説明します。

役員会開催（H20.7.5）	議題：新規役員その他について	出席者13名
支 部 総 会（H20.8.23）	愛媛大学 朋友会館	出席者11名
本 部 総 会（H20.8.23）	愛媛大学 朋友会館	
愛 媛 支 部	ゴルフコンペ（H20.10.18）サンセットヒルズカントリークラブ	参加者15名
秋の懇親会（H20.10.18）	伊予鉄会館	参加者14名
忘 年 会（H20.11.29）	伊予鉄会館	参加者26名

【平成20年度会計報告】

平成21年4月1日時点での会計報告を下記に示します。

収 入	支 出
前年度繰越金 867,476円	役員会開催費 32,500円
本部からの補助金 150,000円	ゴルフコンペ 50,000円
利 息 1,112円	秋の懇親会(同窓会)補助 32,500円

	忘年会補助	52,000円
	過去忘年会写真送付	6,640円
	忘年会案内費	7,000円
	忘年会案内現像、郵送費	7,269円
	次年度繰越金	830,679円
収入合計	支出合計	1,018,588円
1,018,588円		

【平成21年度予算報告】

平成21年度の予算報告を下記に示します。

収 入	支 出
前年度繰越金	役員会開催費
830,679円	30,000円
本部からの補助金	印刷通信費（葉書、写真プリント等）
150,000円	30,000円
	支部主催ゴルフコンペ補助
	50,000@ 2 回
	100,000円
	忘年会補助等
	60,000円
	同窓会補助
	50,000円
	予備費
	710,679円
収入合計	支出合計
980,679円	980,679円

【平成21年度事業計画】

平成21年度の事業計画につきましては、この土木海洋会だよりをご覧になるころには、支部総会、本部総会、第1回支部主催ゴルフコンペと忘年会は実施済みとなっていることと思います。

第2回ゴルフコンペなど、今後も行事を考えておりますので、多数の方の参加を

心よりお待ちしております。また、同窓会を開催される場合には、「愛媛大学土木海洋会愛媛支部活動補助金交付要綱」に基づき、一人当たり最大3,000円の補助金を交付しますのでご利用ください。

役員会	(H21. 7. 25)	伊予鉄会館
支部総会	(H21. 8. 29)	愛媛大学 朋友会館
本部総会	(H21. 8. 29)	愛媛大学 朋友会館
愛媛支部	第1回ゴルフコンペ	(H21.10.24)
忘年会	(H21. 11. 28)	伊予鉄会館
愛媛支部	第2回ゴルフコンペ	(H21. 2～3)
その他		
つり大会		
スキー・スノーボー		
同窓会補助など		

【平成21年度役員紹介】

平成21年8月29日の支部総会より次年度の総会までの間、次に示します役員により、愛媛支部の運営を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支 部 長	山田 康晴 (土木53年)	愛媛県
副支部長	勝谷 雄三 (土木49年)	松山市
幹 事 長	明日 孝憲 (土木9年)	愛媛県
幹 事	友近 榮治 (土木48年)	南海測量設計 (株)
	佐伯 正教 (土木48年)	(株)四電技術コンサルタント
	飯田 和樹 (海洋54年)	四国小松フォークリフト (株)
	中尾 均 (土木54年)	伊予鉄道株式会社
	高橋 正雄 (海洋55年)	三井住友建設株式会社
	永井 康生 (土木56年)	愛媛県
	白石 研司 (土木58年)	株式会社平成工業
	大倉 修 (土木62年)	愛媛県
	木下 尚樹 (土木63年)	愛媛大学
	栗原 弘和 (土木2年)	(株)四電技術コンサルタント
	渡邊 政富 (土木2年)	渡邊建設株式会社
	山本 修嗣 (海洋2年)	五洋建設株式会社
	藤縄 涼子 (環建18年)	(株)四電技術コンサルタント
監 事	村上 浩司 (海洋55年)	芙蓉コンサルタント株式会社

なお、支部の運営やご意見などがございましたら、遠慮なく幹事長にご一報いただきたいと考えております。いただきました意見等を参考に、支部の運営をよりよいものにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【平成20年度のおもな行事の紹介】



★ 愛媛支部主催 ゴルフコンペ ★

平成20年10月18日(土)にサンセットヒルズカントリークラブで開催されたゴルフコンペの集合写真です。

総勢15名で競われた結果は、優勝は白石研司さん(土木S58年卒)(後列の左から5番目)、準優勝は渡邊政富さん(土木H2年卒)(後列の右端)でした。

初心者歓迎します！



★ 秋の懇親会 ★

平成20年10月18日(土)ゴルフコンペの後、伊予鉄会館で開催されて秋の懇親会の様子です。コンペ参加者および懇親会のみ参加者あわせて14名参加されました。

同窓会を開催し、愛媛支部に請求すれば、会費分が帰ってきます。皆さんどしどし同窓会を開催し請求してください！



★ 平成20年度 忘年会 ★

平成20年11月29日(土)に伊予鉄会館において、26名の参加により行われました。

みなさんの近況を報告していただき、有意義な忘年会でした。

産官学の方々が気兼ねなく集える場所ですので、有意義な時間が過ごせることは間違いありません。今後の忘年会には是非とも参加のほどよろしくお願ひします。

以上、愛媛支部の活動報告を終わります。

社会人になって

村上 真（環建18年卒）



私は平成18年度に愛媛大学を卒業し、愛媛大学大学院に進学をしましたが、一年で中退し、今の職につきました。現在、社会人3年目であり、社会人として過ごす一年の短さに驚いています。社会人1年目は、仕事を覚えること、職場の人との人間関係を築くことに一生懸命であったという間だったと思います。そして、先輩の業務に付き添い、ひとつでも多くのスキルを身につけようと精を出していたと思います。社会人2年目になれば、一年を通した業務を計画する余裕もでき、それをこなしていく中で、日々直面する課題をどうこなしていくか、その課題に取り組むと同時に一年を通した業務をどのようにこなしていくか、能率を上げるよう日々取り組んでいました。与えられる課題に直面し、今までの経験や自分の持つ知識からどうすべきか考え、自分の範ちゅうを越えるときは先輩、上司に相談し、先輩たちの助言をもらい、多面的に考え、その上で答えを出すよう心掛けていました。今となっては、もっと先輩に質問をしていてもよかったと思いましたが、自分の力で答えを出すことにより、課題に取り組むプロセスを身に着けることができたと思います。

社会人になって、一番大切なものだったことは、コミュニケーションです。人間関係を構築できなければ、組織で働くことはできないし、一つの作業をするにしても実際は多くの人たちと関わっており、互いの状況を確認し、協力しながら進めており、人と人との繋がり重要さを実感いたしました。大学生の時には、「そんなことはわかっている！」と思うこともありましたが、改めてその大切さに気づきました。また、社会にはいろんな人がいます。本当に仲良くなれる人は少ないです。そういった人たちはとても貴重な存在であると思います。大学生活では、様々な人と出会い、その中で気のあう人たちと人間関係を築いてきましたが、社会に出れば、苦手な人とも一緒に仕事をしなければならないので、とても大変に思います。今となっては、大学生活のときに、もっと多くの人と出会い、話しをし、多くの人の考えかたや、違いを体験しておけたらと思いました。

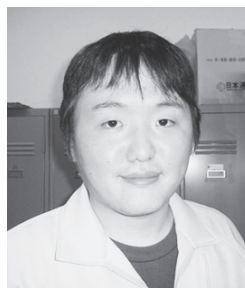
社会にでてからの一年間はあっという間ですが、その一年を、その一日一日をどのように使っていくか、それは自分しだいでしょう。同じ業務内容をしていたとしても、より多くのことを学ぼうとしている人とそうでない人とは、

たった一年でも大きく開きがあります。私は社会人になってからの最初の一年が勝負だと思います。一年間で、その人の周りの評価というのはある程度決まると思いますし、現にそういった評価・うわさというのは耳にします。そういった評価・うわさを耳にするたびに自己啓発していかなければと考えます。

これからの長い社会人生活をより有意義なものにするためにも、多くのことに興味を持ち、疑問を持ち、初心を忘れずに、多くのことを吸収していきたいと思います。そして、今でも四苦八苦しているコミュニケーション能力を身につけすべての出会った人とを大切に、より多くの人間関係を築いていきたいと思っています。

学生から社会人へ

安藤新一郎（環建18年卒）



はじめまして（恐らく今読まれている方のほとんどがそうでしょう）。平成20年度に大学院を修了した安藤新一郎です。現在、私は入社1年目の新社会人として、まだまだ分からないことが多く、勉強の毎日を過ごしています。そんな折、このような文章の依頼を頂いた時は、まだ愛媛大学との繋がりが続いていることを実感できて、大変光栄で嬉しく思えました。愛媛大学・大学院と6年間在籍した私にとってもはや愛媛は第二の故郷です。多くの方と出会い、学び、遊びと、思い出がたくさん詰まった土地なので機会

があれば帰りたいです。

さて話を戻しましょう。私は現在インフラ関係の仕事に従事しております。環境建設工学科で学んだ土木の知識を活かし、責任もある仕事に就けて、今は毎日仕事をするのが楽しく感じております。また、学生時には論文作成は会社で仕事することと似ているとよく言われましたが、今現在まさにそれを実感しています。入社後から今まで、責任は軽くとも多様な仕事をしてきました。がどれも『期限』だけは絶対守らなければいけません。（論文作成時も期限前はドタバタしていました。）現在、計画的に仕事をこなすという習慣は身につけてきましたが、身につけていなかった当初は本当に四苦八苦しておりました。

私はまだ入社して数ヶ月しか経っていませんが、大学を卒業し社会人になって大

切に感じていることがあります。それは愛媛大学という強い繋がりです。先輩後輩や同級生と大学関係の方たちとは特別繋がっていることを感じています。入社後、多くの方と交流する機会がありました。しかし同じ会社に在籍されている大学の先輩方だけは他の方とは違い、愛媛大学出身というだけで気にかけて頂き、またお話しする時は私自身も愛媛の匂いを感じることができました。誰よりも優しく仕事を教えていただき、誰よりも深く厳しく指導していただけるこの関係・繋がりがあることを私は大変幸せに感じています。また何より、社会人としてのスタート時が今の私と同じだった先輩方からの助言というのが励みになります。誰よりも今の私の境遇を理解してくださり、そして経験談を通じてアドバイスを下さることは本当に参考に、勉強になります。

学生から社会人へ、私はまだまだ一人前の社会人として未熟者ですが、もし機会があれば愛媛大学を訪れ、お世話になった先生方や皆様に社会人として成長した私を報告したいと思います。そしてそれを肴にお酒も飲めたら最高です。

土質研究室30周年記念同窓会



日 時：平成20年 6 月 6 日(金)

場 所：◆花の森ホテル

(<http://www.hananomori-h.com/>)

愛媛県伊予市中山町中山11号405番地2

参加者：38人

八木先生が愛媛大学に着任されて土質研究室を開かれて丁度30年になりました。
それを記念して同窓会を行いました。

スケジュール：

- 16：00～随時 移動（送迎バス あるいは 自家用車）
なお、送迎バスは愛媛大学（16：00発予定）
翌日は（原則）愛媛大学着
- 17：30～18：30 「地盤工学の過去・現在・未来を語る」
名誉教授 八木 則男
- 19：00～21：00 記念祝賀会

参加者

1		八木 則男	20	海洋 2	岩本 隆久
2	鳥取大	榎 明潔	21	海洋 2	松田 久和
3	愛媛大	矢田部龍一	22	海洋 3	坂井 吾郎
4	愛媛大	岡村 未対	23	海洋 3	向谷 光彦
5	愛媛大	ネトラ P バンダリ	24	海洋 3	大塚 俊二
6	愛媛大	二神 治	25	海洋 4	塩田 耕司
7	愛媛大	中島 淳子	26	海洋 4	八木 幸洋
8	海洋55	松村真一郎	27	海洋 5	青山 健
9	海洋55	山本 浩司	28	海洋 5	沢西 芳円
10	海洋55	日和佐智一	29	土海11	稲村 貴志
11	海洋56	利藤 房男	30	土海10	井上 博喜
12	海洋56	重信 純	31	土海10	浅木 佑允
13	海洋56	富田 邦彦	32	環建14	松岡 晋是
14	海洋57	武智 修	33	環建17	重松 慎哉
15	海洋57	大西 慎一	34	平 9 修	右城 猛
16	海洋61	岡部 登	35	平11修	山下 祐一
17	海洋62	藤元 英樹	36	平14修	須賀 幸一
18	海洋元	久保 光明	37	平14修	藤原身江子
19	海洋 2	山本 修嗣	38	平19修	廣田 清治

平成20年度関東環建新年会（若手の集い）

日 時：平成21年 1 月17日(土)

場 所：港区三田

参加者：12名（浅井、香川、玉井、大井、岡田、松岡、増田、長和、山本、佐伯、富永、水場）

学科卒年	氏 名	学科卒年	氏 名
環建14	浅井 威人	環建18	増田 雅士
環建14	香川 涼子	環建18	長和 剛平
環建14	玉井 秀子	環建18	山本 朋広
環建13	大井 邦昭	環建18	佐伯 嘉隆
環建18	岡田 圭子	環建20	富永 直基
環建18	松岡ちひろ	環建20	水場 牧子

以上の集まりで、関東在住の環建卒業生で集まって朝まで(?)盛り上がりました。関東支部若手の集いでは、新年会の他にも忘年会や金時山（箱根）登山の会などでも集まり、盛り上がっています。それぞれ仕事で忙しくしていても、時間をみつけては学年を越えた交流を楽しんでいます。人が人を呼んで、いつの間にか賑やかな集まりになってきています。



関東支部若手の集いでは補助を戴いた上記の新年会以外にも、つぎのような気軽な集まりを行っています。

忘年会（2008年12月20日）は浅草雷門集合に始まり、下町情緒の溢れる中で夕暮れ前より近況やら大学時代の思い出やらいろんな話題で時間も忘れて盛り上がり、結局は終電を逃した友人に付き合い朝まで続いたという……。

金時山登山（2009年2月28日～3月1日）は、誕生日を迎える友人を山頂で祝うための会として今年で3回目です。今年はいにくの天気（雨は降りませんでした。）で残念ながら富士山を望むことはできませんでした。晴れていれば素晴らしい景色を眺めることができます。登山の後は温泉に入ってお料理とお酒に盛り上がりました。また、近くにある大涌谷の黒たまごをみんなで食べて寿命を延ばしてきました！



いつ集まっても、何度でも、同じ思い出話に飽きることなく笑って騒いでいます。普段はそれぞれ仕事に忙しく過ごしながら、環建仲間で集まると学生時分の雰囲気になっちゃうもので、あの頃と同じように大騒ぎしてしゃべって飲んで笑っています。きっと、お互いのそういうエネルギーから元気を補充し合っているのでしょう。愛媛では考えられない都会の朝の電車ラッシュにも負けず、毎日が祭りのような街の人混みにも負けず、それなりにがんばっている私たちです。

また今年から仲間が関東に来るなんて話もちらほら……きっと近々集合することになるでしょう。今から楽しみにしているところです。

第7回えざわ会報告

首藤 八起 (鉦37年卒)

今年も春爛漫の4月4日(土)の大安、15名が集まりました。先ず、恩師江澤政男先生から近状ご報告がありました。当年取って卒寿(卒寿)+4歳(94)。お宅へ電話を入れると、あの元気な声で受話器をお取りになるのが日常です。お体は特に悪いところは無いとのこと。寧ろ、ご家族の健康を心配りされている位。歩くことがお好きでステッキを使って毎日朝散歩。「えざわ会」の会場(学士会館)にも地下鉄で来られる健脚ぶりです。池袋デパート・スポーツ用品売り場にて、因にご一緒に、先生のステッキを「えざわ会」より更新いたしました。

会食後は恒例の花見。今年は皇居周りを散策して解散致しました。

そもそも、この「えざわ会」は先生が都内に元気でお住まいということもあって、関係者に呼び掛けたのがことの始まりです。毎年4月始めに集まり、先生の「元気」を戴こうというものです。皆様の御協力と土木海洋会のご支援で続いております。何方でも新たな参加者を大歓迎致します！年に1回、誘い、誘われるがままの気の置けない先輩、後輩達と先生を囲みながら、楽しい春のひとつきを過ごしてみませんか？



35年鉱山学科 入学（39～42年卒業）同期会

片上 尚男（鉱39年卒）

上記入学生は（23名入学）、39年に15名が卒業、更に専門を極めた者及び身体を壊して2年半も休学した者等計20名のクラスである。1994年より2～4年毎に京都・松山・札幌・長野・鹿児島いぶすきと同期会を開催してきた。前は平成18年九州在住の小松君の幹事で鹿児島・指宿にて開催、今回は仙台在住の小生が幹事で夫婦同伴者を含め12名が集まり旧交を温めた。松山からはるばる夜行バスを乗り継いで来た人、新居浜から新幹線を乗り継いで景色を楽しみながら来た人等、いろいろの足袋のスタイルあり。ゴルフ希望者は、13日夜に仙台入りした者と、東京から朝一番の新幹線で来た者の2組が合流し、仙台市内のゴルフ場で自慢の腕を競いあった。スコア、飛距離は毎回落ちる一方であるが、口の方は年々達者になり、足を引っ張ったり、褒め殺し合ったりしながら和気藹々とプレー。ゴルフに参加しない人は仙台市内の観光名所をめぐるバス「るーぷる仙台」で観光したり、ケヤキ並木の定禅寺通りを散策。

14日夕方、全員仙台駅前のホテルに到着、近くの日本料理店に移動する。通称、鉱山学科の級長の柳生君の挨拶で始まり、乾杯の音頭は11年振りに参加の紙本君、続いて各自が近状報告、病気体験談、孫自慢話、学生時代のテストの話等、三陸海岸で採れた珍味「ホヤ」を始め、東北の味を満喫しながら思い出話を花を咲かせた。

翌15日は全員で伊達政宗が築城した青葉城、広瀬川を見て、一路岩手県平泉町に向かい、奥州藤原三代の栄華を極めた中尊寺金色堂、浄土の世界を表現した毛越寺の庭園を見学。全員の長寿と健康を祈願して鐘楼の釣鐘を一同力合わせて叩いた。日本三景の一つで松尾芭蕉も感嘆した松島湾が一望できるホテルに到着・宿泊。宴会は浴衣姿でリラックスし、大門君が得意のカラオケを披露。老人ホームを慰問している柳生君は松健サンバの金キラキンの衣装にちょんまげ姿で踊りを熱演して爆笑の連続。最後には全員で肩を組み、懐メロや、校歌を熱唱、45年前の青春時代にタイムスリップした実に楽しい時間を過ごすことが出来た。

最終日16日は民謡で名高い松島瑞巖寺に参拝して島巡り観光船に乗り、かもめ飛び交う中、秋の穏やかな松島湾の風景に酔いしれる。昼食は仙台名物の牛タンを食べ、仙台七夕館を見て名残を惜しみながら仙台駅から帰路についた。

みんな70歳前後でも、元気滲刺で、野菜作りやボランティアに精を出している人、現役のまま働いている人、海外旅行や趣味に励んでいる人等、それぞれが今最も充実した人生をエンジョイしている様子でした。次回は3年後にまた松山で全員元気な姿で再会することを誓いあって、東北での同期会を解散した。



平成21年度 第2回森研究室同窓会

日 時：平成21年 8月14日(金)

場 所：松山市

参加者：14名（森先生、竹内、阿部、俵、掛水、有澤、杉浦、松下、田村、ビギャン、大竹、吉川、松村、吉田）

学科卒年	氏 名	学科卒年	氏 名
環建11	竹内 良方	現M 1	田村 一樹
環建12	阿部 雅弘	現M 1	ビギャン ウパダイ
環建12	俵 司	現B 4	大竹 秀典
環建14	掛水 真一	現B 4	吉川 将也
環建16	有澤 大樹	現B 4	松村 裕樹
環建16	杉浦 悠介	現B 4	吉田 享一
環建16	松下 怜		

森研究室は今年で12年目となります。約2年前（森研究室10年目）、第1回森研究室同窓会を開催し、今回で2回目になります。

世代を超えた交流、また、学生にとっては社会人との交流が就職後の生活を垣間見る良い機会となります。今後も2年に一度、同窓会の開催を予定しています。

第1回目に比べて参加者は減りましたが、欠席者からも「今回参加できなくて本当に残念です」などの意見を頂いており、今後も継続したいと考えております。



さて、今回実施した同窓会は道後温泉です。当時松山市に在住しながらも、道後温泉に一度も行ったことがありませんでした。おいしい料理のあとは、温泉につかり、まるで観光客のようにさわぎながら温泉街を歩きました。

飲み足りない人、食べ足りない人、話足りない人、さまざまでありましたので2次会にも参加しました。（森先生も含め）学生の時には出来なかった話も気兼ねなく出来、有意義な時間を過ごしました。また、当初目的である世代を超えた交流が出来てとても意味のある同窓会でした。なお、今回は同窓会に先がけ、社会人、学生とも近況報告を兼ねて、各自10分程度のプレゼンテーションを大学にて実施しました。忙しい中資料を作成したかいもあり、様々な情報提供の場となりました。

同窓生参加者は、ゼネコン、コンサル、公務員等様々な業種で活躍しており、参加者も多岐に渡りましたので、特に就職を控えた学生には良い情報収集の場となったのではないのでしょうか。

最後にこの場を借りて、次回同窓会の案内をします。まだ先の話ですが、、

第3回 森研究室同窓会 : 日時 平成24年1月9日(日) (予定)

: 場所 松山市内

同窓生の皆様、多数のご参加をお待ちしています。

平成21年度 愛媛大学土木海洋会 総 会 議 事 録

開催日時：平成21年9月29日(土) 午後3時～

開催場所：愛媛大学職員会館（朋友会館）

出席者数：30名

議 題

議 長：石井 敏量 会長（～20年度）、鈴木 幸一 会長（21年度）

1) 平成20年度事業報告について

渡邊幹事長代理より、総会資料－1に基づき、平成20年度中に実施された諸事業について説明がなされ、これらが全会一致で承認された。

2) 平成20年度決算報告について

渡邊幹事長代理より、総会資料－2に基づき、平成20年度の決算報告がなされるとともに、この会計について松木監事より適正であることを認める旨の会計監査結果報告がなされ、これらが全会一致で承認された。

3) 平成21年度役員について

渡邊幹事長代理より、総会資料－3に基づき、平成21年度役員（案）について説明がなされ、本案が全会一致で承認された。

平成21年度の新役員は、以下のとおり。

○顧問：石井 敏量（土45）

○会長：鈴木 幸一（教授）

○副会長：大仲 祥司（土47）、山田 康晴（土53）

○幹事長：木下 尚樹（土63）

○幹 事：明日 孝憲（土海9）

○評議員：武岡 英隆（教授）、氏家 勲（教授）、岩崎 公平（海54）、後藤 博光（海62）、勝谷 雄三（土49）、川下 聡（環20）、山手 望知世（環20）

4) 平成21年度事業計画について

木下幹事長より、総会資料－4に基づき、平成21年度事業計画（案）について説明がなされ、本案が全会一致で承認された。

平成21年度に計画されている主な事業は、本部関係が会員の住所調べ、総会・役員会、会員名簿および土木海洋会だよりの発行、会員および学科の親睦活動などに対する援助事業などである。支部関係では総会ならびにその他会合である。また、会員名簿データの精度向上、ホームページ・たよりの充実、同期会、地区会合等の開催促進、支部事務作業の一部支援などの意見が出され、事務局で検討の上、実行可能なものから実施することとなった。

5) 平成21年度予算について

木下幹事長より、総会資料-5に基づき、平成21年度予算（案）について説明がなされ、本案が全会一致で承認された。

6) その他

なし



平成21年度・愛媛大学土木海洋会総会（朋友会館）

事務局だより

1. 会費についての内規

平成12年より70歳以上の会員の会費は免除することにしております。また60歳以上の会員は終身会費として会費を一括払いすることができるようになっておりますのでご活用ください。なお会員の方々の年齢は卒業年次により計算させていただいておりますことをご了承ください。

会費についての内規

1. 会費は、年額3,000円とする。ただし、70歳以上の会員の会費は免除する。
2. 60歳以上の会員は、終身会費として一括払いをすることができる。終身会費は、60歳以上65歳未満の会員に対しては、20,000円、65歳以上の会員に対しては、10,000円とする。
3. この内規の変更は、総会の議決による。

2. 会合への助成金制度

この制度は、同窓生の皆様に、同窓会活動を活発化していただくために設けられたものです。同窓生の親睦などの目的に活用していただきたいと思います。下記の細則2の提出物を添えてお申し込みください。事前のご相談もお受けいたします。

〈同期会・研究室同窓会・職場班会・地区同窓会などに対する助成金制度〉

助成金額：出席者会員1名当たり1,000円を上限とする。ただし、会員5名以上の会合で、助成最高額は50,000円とする。

上記助成金制度の細則

細則1. 助成対象

出席者の全員または一部が会員である会合に対し助成する。

細則2. 本部事務局への提出物

1. 案内状1部（土木海洋会への会費納入催促の文をなるべく記載のこと）
2. 最終出席者名簿1部（氏名、卒業学科・年、その他（勤務先、住所など））
3. 集合写真1枚（日付入り）
4. 住所変更の報告
5. 土木海洋会だよりへの投稿原稿

細則3. 助成回数

同一組織による会合への助成は、年度内において1回とする。

上記の助成は、平成9年度より実施する。

3. ホームページについて

土木海洋会のホームページを開設しました。行事等の情報を掲載いたしますのでぜひご覧ください。支部行事、会合の案内等のホームページへの掲載を希望される場合は事務局までご連絡ください。

土木海洋会ホームページアドレス <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~dokai/>

4. 土木海洋会だよりへの投稿のお願い

毎年12月に発行しております「土木海洋会だより」への掲載記事を募集しております。

個人・グループの近況、活動報告、技術記事などを寄稿ください。掲載ご希望の方は事務局までご連絡ください。

愛媛大学土木海洋会だより 第15号

発 行 日 平成21年11月20日

発 行 者 愛媛大学土木海洋会

〒790-8577 松山市文京町3番

愛媛大学工学部環境建設工学科内

☎ 089-927-9823

F A X 089-927-9823

Eメール dokai@cee.ehime-u.ac.jp

郵便振替 加入者名：愛媛大学土木海洋会

口座番号：01640-6-37779

銀行口座 加入者名：愛媛大学土木海洋会

伊予銀行城北支店（支店番号150）

普通口座 150-1-1231698

ゆうちょ銀行一六九（イチロクキュウ）店

当座 0037779

土木海洋会

検 索

土木海洋会ホームページ

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~dokai/>

メールアドレス

dokai@cee.ehime-u.ac.jp

愛媛大学工学部環境建設工学科ホームページ

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp>